

年金受取総額保証付変額個人年金保険GF

マリンウェイブ

2017年度（平成29年度）特別勘定の現況

●投資環境（2017年度）

日本株式市場

当年度の日本株式市場は、主要国の経済成長が持続していることや好調な企業業績を背景に上昇しました。年度初、日本株式市場は、北朝鮮情勢などが意識されて一時的に下落しましたが、企業業績への期待感などを背景に値を戻し、2017年9月頃まではおおむね横ばいで推移しました。その後は、衆議院総選挙での与党圧勝などを受けて株価は上昇基調で推移しました。2018年明け以降は、海外投資家が売り越しに転じたほか、米国債利回りの急上昇などの悪材料も重なり、日本株式市場は値動きの荒い展開となりました。年度末にかけては、米中貿易摩擦への懸念などから上値の重い展開が続きましたが、日本株式市場は、年度初から上昇した水準で当年度を終えました。

外国株式市場

年度初、外国株式市場は欧米企業の堅調な企業業績などを背景に上昇基調で推移しました。その後は、北朝鮮情勢の緊迫化などの要因が株価の上値を抑える場面があったものの、堅調な経済指標などから上昇基調が続きました。2017年末には、米国での税制改革法案の可決が好感されて、外国株式市場は上昇基調を強めました。年明け以降は、米国のインフレ懸念が強まったことにより外国株式市場は下落に転じ、その後も米中貿易摩擦への懸念などから値動きの荒い展開が続きましたが、年度を通して外国株式市場は上昇しました。

日本債券市場

当年度、日本の長期金利(10年国債利回り)は若干低下しました。年度初、10年国債利回りは0%程度まで低下しましたが、フランス大統領選が順当な結果となったことから上昇に転じ、2017年7月上旬まで上昇基調が続きました。その後、北朝鮮情勢の緊迫化などを受けて10年国債利回りは8月末に0%を下回る水準まで低下しました。9月以降は、米国の税制改革の進展や世界的な株高などを背景に10年国債利回りは上昇基調で推移しました。年度末にかけては、日銀の金融緩和と政策解除の思惑から10年国債利回りは上昇したものの、日銀が長期金利上昇に対して牽制姿勢を明確に示したため低下に転じ、10年国債利回りは年度初から低下した水準で当年度を終えました。

外国債券市場

米国債利回りは上昇しました。年度前半は、欧米の主要中央銀行が金融引き締めに向き姿勢を示したことから、米国債利回りは上昇する局面があったものの、北朝鮮情勢などの地政学的リスクの高まりから、低下基調で推移しました。年度後半は、米国の税制改革の進展により米国債利回りは上昇に転じ、年度末にかけてもインフレ圧力が強まったことなどから上昇基調が続きました。

ドイツ国債利回りは上昇しました。欧州の景況感の改善が利回りの上昇要因となった一方、スペインのカタルーニャ州独立問題などの欧州の政治リスクが利回りの低下要因となり、ドイツ国債利回りは一進一退の展開が続きました。しかし、年度末にかけてはECB(欧州中央銀行)による金融引き締めが意識されて、ドイツ国債利回りは年度初の水準から上昇して当年度を終えました。

外国為替市場

米ドル円為替レートは、世界的な景気拡大に対する期待の高まりが米ドル高要因となる一方、米国の財政拡張政策に対する懸念などが米ドル安要因となり、比較的狭いレンジで推移していましたが、年明け以降は、世界的な株式市場の下落などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、円高米ドル安が進行しました。一方、ユーロ円為替レートは、ECBによる金融引き締め政策への転換が意識されて円安ユーロ高が進行しました。

●運用実績の推移および運用方針

- | | |
|-------------|--|
| ①当期の運用実績の推移 | 各特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2017年度決算(決算日：2018年3月31日)を行いました。当資料は2017年度の運用状況をご報告するものです。
3ページ以降は特別勘定レポート(2018年4月発行(2018年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

●特別勘定資産の内訳(2017年度末)

(単位：百万円)

区分	金額	
	世界バランス 40ST	世界バランス 50ST
現預金・コールローン	1	6
有価証券	104	126
公社債	-	-
株式	-	-
外国証券	-	-
公社債	-	-
株式等	-	-
その他の証券	104	126
貸付金	-	-
その他	4	13
貸倒引当金	-	-
合計	110	147

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2017年度)

(単位：百万円)

区分	金額	
	世界バランス 40ST	世界バランス 50ST
利息配当金等収入	375	289
有価証券売却益	-	-
有価証券償還益	-	-
有価証券評価益	28	36
為替差益	-	-
金融派生商品収益	-	-
その他の収益	-	-
有価証券売却損	-	-
有価証券償還損	-	-
有価証券評価損	349	280
為替差損	-	-
金融派生商品費用	-	-
その他の費用及び損失	-	-
収支差額	54	45

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2017年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス 40ST	新光外国株式インデックス VA	8	18	150,270	168,046
	新光日本債券インデックス VA	32	39	299,477	323,905
	TMA 日本株式インデックス VA *	153	280	193,430	204,331
	TMA 外国債券インデックス VA *	786	1,200	308,548	349,846
世界バランス 50ST	新光外国株式インデックス VA	1,724	3,714	157,434	176,362
	新光日本債券インデックス VA	10,365	12,420	222,818	242,955
	TMA 日本株式インデックス VA *	881	1,580	136,960	145,902
	TMA 外国債券インデックス VA *	1,105	1,680	142,394	161,654

※単位未満切捨て

* 適格機関投資家限定

●保有契約高(2017年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険 GF マリンウェイブ	51	237

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用状況 ユニットプライスの推移と期間収益率(2017年度末)

世界バランス40ST



ユニットプライス 2018年3月末現在	117.47
------------------------	--------

期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	-1.25%	-4.29%	-1.75%	2.50%	17.48%

世界バランス50ST



ユニットプライス 2018年3月末現在	122.91
------------------------	--------

期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	-1.74%	-4.60%	-1.59%	2.91%	22.93%

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

特別勘定の内容

目標値 110%または 120%の場合の特別勘定

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用 (年率) ^(注)
総合型	世界バランス40ST	新光外国株式インデックスVA	アセットマネジメントOne株式会社	0.324% (税抜0.3%)程度
		新光日本債券インデックスVA		
		TMA日本株式インデックスVA*	東京海上アセットマネジメント	
		TMA外国債券インデックスVA*		

*適格機関投資家限定

目標値 130%、140%または 150%の場合の特別勘定

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用 (年率) ^(注)
総合型	世界バランス50ST	新光外国株式インデックスVA	アセットマネジメントOne株式会社	0.324% (税抜0.3%)程度
		新光日本債券インデックスVA		
		TMA日本株式インデックスVA*	東京海上アセットマネジメント	
		TMA外国債券インデックスVA*		

*適格機関投資家限定

(注) 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

特別勘定の名称	運用方針
世界バランス40ST	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式20%、日本債券(短期金融資産を含む)30%、外国債券30%です。
世界バランス50ST	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式30%、日本債券(短期金融資産を含む)30%、外国債券20%です。

後記の投資対象ファンドのインデックス名称のうち、「シティ世界国債インデックス」は「FTSE 世界国債インデックス」に変更となりました。なお、指数の算出方法等は一切変更ありません。

特別勘定の純資産総額の内訳

2018年3月末現在

特別勘定の名称	運用資産				投資対象となる投資信託	運用会社	資産配分		純資産 総額 (百万円)
	株式		債券				資産額 (百万円)	配分	
	日本	外国	日本	外国					
世界バランス40ST		●			新光外国株式インデックスVA	アセットマネジメントOne株式会社	22	20.0%	110
				●	新光日本債券インデックスVA		27	24.9%	
	●				TMA日本株式インデックスVA*	東京海上アセットマネジメント	22	20.0%	
				●	TMA外国債券インデックスVA*		33	29.9%	
					現預金その他	—	5	5.2%	
世界バランス50ST		●			新光外国株式インデックスVA	アセットマネジメントOne株式会社	43	29.9%	146
				●	新光日本債券インデックスVA		28	19.5%	
	●				TMA日本株式インデックスVA*	東京海上アセットマネジメント	25	17.5%	
				●	TMA外国債券インデックスVA*		29	19.9%	
					現預金その他	—	19	13.2%	

*適格機関投資家限定

【特別勘定名】	【特別勘定が利用するファンド名：外国株式】
世界バランス40ST 世界バランス50ST	新光外国株式インデックスVA

- ・ マリンウェイブ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

- 組入れ投資信託名： 新光外国株式インデックスVA
- 投資信託委託会社： アセットマネジメントOne株式会社
- 組入れ投資信託の運用方針： 主として新光外国株式インデックスマザーファンド受益証券に投資し、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
- ベンチマーク： MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)

■ 基準価額、純資産総額

基準価額	20,839円
純資産総額	1,205百万円

■ 資産構成

	比率(%)
現物等組入比率	96.2
コール等	3.8
先物等組入比率	3.7
実質株式組入比率	99.9

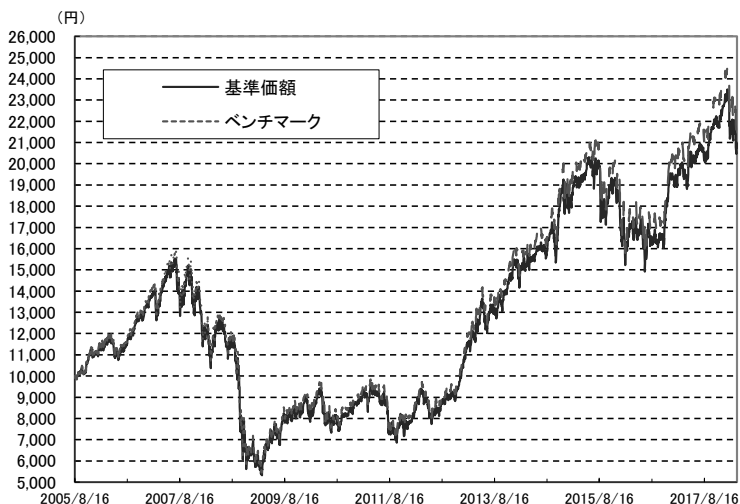
*資産構成は実質組入れ比率です。

■ 騰落率(基準価額ベース、分配金込み)

	1ヵ月間	設定来
当ファンド	-4.26%	110.04%
ベンチマーク	-4.33%	120.56%

※設定来の騰落率は、設定日前日を基準に数値を算出しています。

■ 基準価額の推移グラフ



※ベンチマークは「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日の前日を10,000として指数化しております(設定日：2005年8月16日)。※「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はモルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社に帰属します。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

■ 株式組入上位10業種(単位：%)

	業種	ファンドの ウェイト	ベンチマークの ウェイト
1	ソフトウェア・サービス	10.41	10.78
2	銀行	9.18	9.63
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.66	7.96
4	資本財	7.26	7.59
5	エネルギー	6.33	6.57
6	食品・飲料・タバコ	4.87	5.12
7	素材	4.75	4.97
8	各種金融	4.42	4.75
9	小売	4.26	4.40
10	保険	4.05	4.13

*ファンドのウェイトとは、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

*業種は、世界産業分類基準(GICS)です。

■ 株式組入上位10銘柄(単位：%)

(組入銘柄数:1255)

	銘柄名	ファンドの ウェイト	ベンチマークの ウェイト
1	APPLE INC	2.31	2.39
2	MICROSOFT CORP	1.81	1.86
3	AMAZON.COM INC	1.59	1.64
4	FACEBOOK INC-A	1.03	1.06
5	JPMORGAN CHASE & CO	1.01	1.06
6	JOHNSON & JOHNSON	0.97	0.96
7	ALPHABET INC-CL C	0.88	0.90
8	EXXON MOBIL CORP	0.87	0.88
9	ALPHABET INC-CL A	0.83	0.86
10	BANK OF AMERICA CORPORATION	0.80	0.82

*ファンドのウェイトとは、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づきアセットマネジメントOne株式会社により作成されていますが、アセットマネジメントOne株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】

世界バランス40ST

世界バランス50ST

【特別勘定が利用するファンド名：日本債券】

新光日本債券インデックスVA

- ・ マリンウェイブ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

- 組入れ投資信託名： 新光日本債券インデックスVA
- 投資信託委託会社： アセットマネジメントOne株式会社
- 組入れ投資信託の運用方針： 主として新光日本債券インデックスマザーファンド受益証券に投資し、NOMURA-BPI 総合の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
- ベンチマーク： NOMURA-BPI 総合

■ 基準価額、純資産総額

基準価額	12,043円
純資産総額	56百万円

■ 資産構成

	比率(%)
実質株式組入比率	0.0
実質公社債組入比率	98.6
うち国債	79.6
実質CP組入比率	0.0
コール等	1.4

*資産構成は実質組入れ比率です。

■ 騰落率(基準価額ベース、分配金込み)

	1ヵ月間	設定来
当ファンド	0.12%	21.75%
ベンチマーク	0.16%	27.89%

※設定来の騰落率は、設定日前日を基準に数値を算出しています。

■ 基準価額の推移グラフ



※ベンチマークは「NOMURA-BPI 総合」で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日の前日を10,000として指数化しております(設定日：2005年8月16日)。※「NOMURA-BPI 総合」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万口当たりで、信託報酬控除後のものです。

■ 組入債券上位銘柄(単位：%)

(組入銘柄数：210)

	銘柄	クーポン	償還日	額面	評価額	組入比率(%)	残存年数
1	第123回利付国債(5年)	0.1%	2020/03/20	160,000,000	160,707,200	1.25	1.973
2	第306回利付国債(10年)	1.4%	2020/03/20	150,000,000	154,512,000	1.20	1.973
3	第124回利付国債(5年)	0.1%	2020/06/20	150,000,000	150,748,500	1.17	2.225
4	第312回利付国債(10年)	1.2%	2020/12/20	140,000,000	145,033,000	1.13	2.726
5	第308回利付国債(10年)	1.3%	2020/06/20	140,000,000	144,443,600	1.12	2.225
6	第126回利付国債(5年)	0.1%	2020/12/20	140,000,000	140,838,600	1.10	2.726
7	第342回利付国債(10年)	0.1%	2026/03/20	130,000,000	131,348,100	1.02	7.973
8	第332回利付国債(10年)	0.6%	2023/12/20	120,000,000	124,755,600	0.97	5.726
9	第335回利付国債(10年)	0.5%	2024/09/20	120,000,000	124,482,000	0.97	6.477
10	第338回利付国債(10年)	0.4%	2025/03/20	120,000,000	123,901,200	0.96	6.973

※上記の組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づきアセットマネジメントOne株式会社により作成されていますが、アセットマネジメントOne株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】

世界バランス40ST

世界バランス50ST

【特別勘定が利用するファンド名：日本株式】

TMA日本株式インデックスVA<適格機関投資家限定>

- ・ マリンウェイブ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・ 当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

■ 組入投資信託名：

TMA日本株式インデックスVA<適格機関投資家限定>

■ 投資信託委託会社：

東京海上アセットマネジメント株式会社

■ 組入投資信託の運用方針：

TOPIXに連動する投資成果の達成を目標とし、主として同じ目標で運用を行う「TMA日本株TOPIXマザーファンド受益証券」(以下「マザーファンド受益証券」といいます。))に投資します。

■ ベンチマーク：

TOPIX

■ 基準価額、純資産総額

基準価額	16,957円
純資産総額	382 百万円

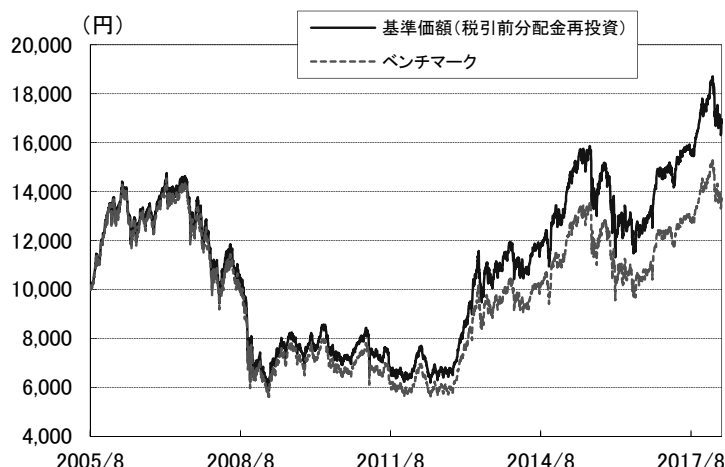
■ 資産構成

	比率(%)
実質組入比率	100.0
内現物等組入比率	93.8
内先物等組入比率	6.2
現金等比率	0.0

■ 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	直近1カ月	直近6カ月
当ファンド	-2.10	+3.45
ベンチマーク	-2.94	+2.48

■ 基準価額の推移グラフ(税引前分配金再投資)



※ベンチマークはTOPIXで、上記グラフ上、ベンチマークは設定日の前日を10,000円として指数化しております(設定日：2005年8月18日)。 ※TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。 ※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

出所：ブルームバーグ

■ 組入上位10銘柄等

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1078銘柄)

No	銘柄	業種名	比率(%)
1	トヨタ自動車	自動車	3.17
2	三菱UFJ FG	銀行	1.84
3	ソフトバンクグループ	通信	1.35
4	日本電信電話	通信	1.32
5	ソニー	民生用エレクトロニクス	1.31
6	三井住友 FG	銀行	1.27
7	本田技研工業	自動車	1.26
8	キーエンス	産業用エレクトロニクス	1.23
9	任天堂	ソフトウェア	1.10
10	みずほ FG	銀行	0.98

組入上位10業種

No	業種名	比率(%)
1	自動車	9.01
2	産業用エレクトロニクス	7.59
3	銀行	6.66
4	基礎素材	6.63
5	機械	6.58
6	医薬品・ヘルスケア	5.93
7	建設・住宅・不動産	5.52
8	運輸	4.93
9	通信	4.35
10	各種金融	4.29

※組入上位10銘柄・組入上位10業種はマザーファンド(TMA日本株TOPIXマザーファンド)ベースです。 ※業種名は弊社独自の21業種分類です。 ※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。 ※株式(現物)には、新株予約権証券を含む場合があります。

注) 当資料は信頼できると思われる情報に基づき東京海上アセットマネジメントにより作成されていますが、東京海上アセットマネジメントはその正確性、完全性を保証するものではありません。

【特別勘定名】

世界バランス40ST

世界バランス50ST

【特別勘定が利用するファンド名：外国債券】

TMA外国債券インデックスVA<適格機関投資家限定>

- ・ マリンウェイブ(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・ 当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

■ 組入投資信託名：

TMA外国債券インデックスVA<適格機関投資家限定>

■ 投資信託委託会社：

東京海上アセットマネジメント株式会社

■ 組入投資信託の運用方針：

FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目標とし、主として同じ目標で運用を行う「TMA外国債券インデックスマザーファンド受益証券」(以下「マザーファンド受益証券」といいます。))に投資します。

■ ベンチマーク：

FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

■ 基準価額、純資産総額

基準価額	14,523円
純資産総額	510 百万円

■ 基準価額の推移グラフ(税引前分配金再投資)



■ 資産構成

	比率(%)
実質組入比率	96.5
内現物等組入比率	96.5
内先物等組入比率	-
現金等比率	3.5

■ 騰落率(税引前分配金再投資、%)

	直近1カ月	直近6カ月
当ファンド	+0.62	-3.21
ベンチマーク	+0.60	-2.87

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)で、上記グラフ上、ベンチマークは設定日を10,000円として指数化しております(設定日：2005年7月29日)。※FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※基準価額は1万円当たりで、信託報酬控除後のものです。

出所：ブルームバーグ

■ 組入上位10銘柄等

組入上位10銘柄 (組入銘柄数：318銘柄)					
No	銘柄	利率(%)	償還日	通貨	比率(%)
1	米国債	1.875	2021/11/30	米ドル	1.47
2	米国債	2.000	2022/02/15	米ドル	1.23
3	米国債	2.250	2024/11/15	米ドル	1.22
4	米国債	1.375	2020/05/31	米ドル	1.13
5	米国債	3.125	2019/05/15	米ドル	1.11
6	米国債	3.375	2019/11/15	米ドル	1.02
7	米国債	2.750	2023/11/15	米ドル	1.01
8	米国債	1.000	2019/06/30	米ドル	0.99
9	米国債	2.000	2021/11/15	米ドル	0.99
10	米国債	2.375	2024/08/15	米ドル	0.98

※組入上位10銘柄・通貨別比率・ポートフォリオの状況はマザーファンド(TMA外国債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

通貨別比率(組入上位5通貨)

通貨	比率(%)
ユーロ	40.64
米ドル	40.02
英ポンド	6.84
カナダ・ドル	2.28
オーストラリア・ドル	2.12

ポートフォリオの状況

平均最終利回り(複利、%)	1.65
平均クーポン(%)	3.24
平均残存期間(年)	9.25
平均修正デュレーション	7.16

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき東京海上アセットマネジメントにより作成されていますが、東京海上アセットマネジメントはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります（ただし、目標値の変更により積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には、別途「積立金移転費用」がかかりますのでご注意ください）。

	項 目	内 容	費 用	備 考（適用時期等）
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の 4%	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用期間中	保険関係費用（保険契約管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して年率 2.55%	特別勘定の純資産総額に対して年率2.55%/365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用関係費用*（資産運用管理費）	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率 0.324% 程度（税抜0.3%程度）	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率0.324%程度/365日を乗じた額を毎日控除します。
	積立金移転費用	1保険年度に12回を超える積立金の移転の際	1保険年度13回以上の移転の際：一回につき 1,000円	移転時に積立金から控除します。
年金支払期間中	保険関係費用（年金管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0% 以内	年金支払開始日以降、年1回の年金支払日に責任準備金から控除します。

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

投資リスクについて

この商品のご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動（増減）につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。目標値の変更により積立金の移転が生じた際には、特別勘定の種類によっては投資リスクが異なることとなりますのでご注意ください。

ご注意いただきたい事項

- 「マリンウェイブ（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。
- 「マリンウェイブ（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金（年金支払期間15年）のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】 みずほ証券株式会社	【引受保険会社】 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ http://www.tmn-anshin.co.jp ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ  0120-155-730 受付時間 月～金/9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)
----------------------	---

